

令和4年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	浦和総合運動場・駒場運動公園・三浦運動公園・浦和北公園
(2)施設概要	<p>①所在地 浦和総合運動場 さいたま市浦和区元町1丁目、本太4丁目地内 駒場運動公園 さいたま市浦和区駒場2丁目地内 三浦運動公園 さいたま市緑区大字三浦地内 浦和北公園 さいたま市浦和区常盤9丁目地内</p> <p>②施設の設置目的 浦和総合運動場 都市住民全般の主として運動の用に供することを目的とする。 駒場運動公園 都市住民全般の主として運動の用に供することを目的とする。 三浦運動公園 主として近隣に居住する者の利用に供することを目的とする。 浦和北公園 高齢者の福祉の増進を図ることを目的とする。</p> <p>③施設の概要 浦和総合運動場 面積 4.32ha 主な施設 野球場、一般競技場、テニスコート、トレーニング場 他 駒場運動公園 面積 7.43ha 主な施設 競技場、補助競技場、相撲場、屋外プール 他 三浦運動公園 面積 1.20ha 主な施設 一般競技場他 浦和北公園 面積 1.12ha 主な施設 談話室、テニスコート他</p>
(3)指定管理者	URAWAスポーツパークJV
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日</p> <p>②指定管理料 令和元年度 191,735千円 令和2年度 197,561千円 令和3年度 200,931千円 令和4年度 204,350千円</p>

<p>(5) 施設の管理運営の内容</p>	<p>① 運営業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇ 利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 <ul style="list-style-type: none"> 浦和総合運動場 110,372人(前年度 109,233人) 駒場運動公園 321,554人(前年度157,403人) 三浦運動公園 11,217人(前年度13,840人) 浦和北公園 13,964人(前年度13,934人) <p>◇ 業務実施状況</p> <p>施設維持管理業務、利用者受付業務、公共施設予約システムによる貸出業務</p> <p>業務仕様書及び事業計画書による業務</p> <p>② 維持管理業務の状況</p> <p>保守管理業務 サッカー場、競技場、夏季プール、野球場、一般競技場、</p> <p style="padding-left: 40px;">テニスコート、夜間照明設備等</p> <p>日常清掃業務 サッカー場、屋外プール、管理棟、テニスコートハウス等</p> <p>定期清掃業務 管理棟、夏季プール、受水槽、園内等</p> <p>植栽管理業務 高木剪定、低木剪定、花壇等</p> <p>③ その他</p> <p>【市民協働事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園清掃活動(浦和区子ども会育成連合会/駒場運動公園) ・バラ苗(レッズローズ)の維持管理(浦和レッドダイヤモンド株式会社/駒場運動公園) ・世界環境デーに合わせたイベント「エコウォーク」を開催し、市民とウォーキングを行いながら地域のゴミ拾いを行った(浦和北公園) ・浦和北公園の植込み・プランターの貸出しによる植栽管理(植栽ボランティア団体) <p>【自主事業】</p> <p>[浦和総合運動場]</p> <p>小学生初心者テニス教室、朝野球、ベースボールスクール、指導者講習会、ライオンズベースボールスクール、女子野球イベント、防災イベント</p> <p>[駒場運動公園]</p> <p>ラジオ体操、小学生かけっこ教室、親子着衣泳体験教室、天然芝ピッチを体験少年少女サッカー教室(雨天中止)、ナイター小学生かけっこ教室</p> <p>[三浦運動公園]</p> <p>小学生女子サッカー教室、グラウンドゴルフ大会</p> <p>[浦和北公園]</p> <p>手作り雑貨教室、エコウォーク、リバーシ大会、小学生将棋大会</p>
<p>(6) 収支状況</p>	<p>① 収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用料金収入 34,508千円 (前年度 20,826千円) ・指定管理料 204,364千円 (前年度 190,243千円) ・自主事業収入 9,680千円 (前年度 5,458千円) <p>② 支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費 55,766千円 (前年度 54,239千円) ・事務費 33,701千円 (前年度 37,389千円) ・施設管理費 149,405千円 (前年度 119,441千円) ・自主事業費 9,680千円 (前年度 5,458千円)

<p>(7) 利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応</p>	<p>○浦和総合運動場 施設の雰囲気・設備において「大変良い」「良い」を合わせると70%以上の結果となりました。竣工から34年が経過し、様々なところで劣化や不具合が出てきておりますが、これを言い訳とすることなく、より良い施設管理に努めてまいります。</p> <p>○駒場運動公園 施設の管理の清潔感と雰囲気について80%以上という高い評価を得ることが出来ました。今年度より導入したキャッシュレス決済についても好評を頂くことが出来ました。ご意見につきましては、陸上競技場の利用時間を延長して欲しいという声を多数いただきましたが、照明を使用しない期間の夏季のみ延長利用することをご理解いただきました。</p> <p>○浦和北公園 「さいたま市公共予約システムを導入することに賛成か反対か」を問うものでした。システム導入については、約17%の方が賛成、約78%の方が反対という形となりました。それを踏まえて市と協議の結果、導入は見合わせとなりました。</p>
--	--

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
市民の平等な利用の確保について	<p>スケジュール会議に参加して各競技団体と調整を図り、市民が平等に利用できるように努めました。また、ホームページやSNS等を活用し、利用者へいち早く新しい施設情報や利用状況が届くよう情報発信に努めました。窓口においては、障がい者の方のコミュニケーション対策として筆談器具のコミュニケーションボードを設置し、親切な施設提供の促進に努めました。また、自主事業においては、どの講座も多くの方からご応募をいただいているため、申し込み後に公平な抽選を実施し、キャンセル待ちによる繰り上げ当選を行い、できるだけ多くの方に参加してもらう工夫をしました。</p>
施設の設置目的の達成に向けた取り組みについて	<p>大規模大会をはじめ各種大会で使用する浦和総合運動場野球場及び駒場運動公園競技場は、「プロ仕様」の高水準なグラウンドを維持することができました。夏季プール開催の原山市民プールでは、3年ぶりに前売り制により利用人数を制限しての公開となりましたが、コロナ対策を講じながら適正な水質管理と清掃を心掛け、安心して利用できる環境を作ることができました。また、定期的に水難救助訓練・心肺蘇生訓練や泳力向上トレーニング等を行い、危機管理意識の向上と職員のスキルアップを図りました。</p>
サービス向上に向けた取り組みについて	<p>ホームページやSNSを活用した施設の空き情報の提供、また、施設の利用状況等をホームページ上で更新し、施設を有効活用する事ができました。また、利用料金の支払い手段にキャッシュレスを導入することでサービス向上に努めました。浦和総合運動場では、主にテニス利用者向けに貸しロッカーを提供して利用者の利便性を図りました。</p>
指定管理業務に係る経費について	<p>事務文書における両面印刷や裏面印刷等の推進、また、電子化及びメール活用におけるペーパーレス化で印刷コストや通信費を削減する事が継続的に出来ました。さらに、照明機器のLED化や事務所・廊下等の照明設備を間引きすることで、節電に努めました。夏季プールの原山市民プールにおいては、特に水の使い過ぎに気を配りながら水温管理を適正に行いました。またプール内売店を自社にて運営することで委託費の削減に努めました。浦和総合運動場、駒場運動公園においては、東京電力との電気需給契約期間を長期契約にして大幅な料金の削減を図りました。</p>

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

「市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進」

○スケジュール会議に参加して各競技団体と調整を図る一方、市民が平等に利用できるよう特に土日祝日に一般開放日を設けました。

○ホームページ及びSNSを活用して施設情報の提供や各種教室・イベント等の開催周知を今年度も継続的に行き、多くの市民へ利用促進が図られるよう努めました。浦和総合運動場では、テニスコート空き状況を配信し高い利用率を維持することができ、駒場運動公園は、競技場の主な行事予定をホームページやツイッターに随時アップするなどして、サッカーや陸上競技に関心を持っていただくことができました。さらに、陸上競技場一般公開日をお知らせすることにより、より多くの市民の方が利用できるよう利用促進に努めました。また、浦和北公園では土日祝日の利用にキャンセルが出た場合、空き情報を施設内に貼紙による掲示を行うことで利用率の向上に努めました。同様に三浦運動公園においても大会が終了・中止となった場合は、メルマガに掲載して一般の方にご利用いただけるよう努めました。

○アンケート調査やAグループ独自のホームページより、ご意見・ご要望等を広く受け入れ、その結果を迅速に業務に反映し、市民サービスの向上に努めました。

○施設利用者の利便性を高めるため、自動販売機の設置やケータリングカーによる飲食物の移動販売を実施しました。また、夏季プールにおいては、利用人数を制限してではありますが3年ぶりに運営し、売店の直営や自動販売機を設置してサービスの向上に努めました。

○利用料金の支払い手段にキャッシュレスを導入することで市民サービスの向上に努めました。

○三浦運動公園では小学生女子サッカー教室、高齢者を対象としたグラウンドゴルフ大会を開催。性別・年代を問わず、幅広くスポーツを楽しむ機会の提供に努めました。

○浦和北公園では園内清掃・植栽管理を徹底。憩いの公園として景観維持と環境整備に努めました。

「経費の削減」

○清掃及びグラウンド整備等の両業務を自社で実施することにより、外注することなく委託費の削減に努めました。また、簡易修繕等を職員で行うことで、経費削減に努めました。

○経費執行の適正化を図るため、業務内容の見直しを継続的に行いました。

「適正な管理運営の確保」

○新型コロナウイルス感染防止対策として建物入口や受付等にアルコールを設置しました。また、利用者及び職員のマスク着用、手指のアルコール消毒により感染対策の徹底を図りました。

○浦和総合運動場のグラウンド維持管理では、専門知識職員を配置して高校野球や社会人野球などのレベルの高い試合に対応いたしました。

○駒場運動公園では、WEリーグや全国高校サッカー選手権、特に今年度は20年ぶりにレッズのホームゲームやルヴァンカップが開催される等、全国規模の多種多様の利用があることから、スポーツターフクオリティを適正に維持するとともに、来場者が安全で快適に観戦できるよう施設・設備等の点検整備を行いました。

○浦和総合運動場及び駒場運動公園では、さいたま市教育委員会が実施する中学生の社会体験学習「未来くるワーク」に協力し、勤労観・職業観を育み学ぶ機会を提供しました。(両施設とも市内4校を受入れ)

○駒場運動公園で行っている自主事業「かけっこ教室」を募集したところ、定員50人に対し500人を超える応募があったため、より多くの市民の方に参加していただけるようナイター小学生かけっこ教室等を追加して行いました。

「地域協働」

○浦和区民祭りの実施会場として浦和北公園を貸出し。同時開催として自主事業「オセロ大会」を同会場にて実施し、多くの方に足を運んでいただきました。

○植栽ボランティア団体への協力として浦和北公園の植込み・プランターの貸し出しを実施しました。

○職員をはじめ、スポーツ教室講師など地域人材や業者を登用し、地域の雇用活性化に努めました。

○世界環境デーに合わせたイベント「エコウォーク」開催。環境問題と健康増進を目的に市民とともにウォーキングをしながら地域のゴミ拾いを実施しました。

(2)さいたま市の評価(評価担当課:都市局 みどり公園推進部 南部公園整備課)

総合評価 (B) ※A~D

1 項目別の評価

①市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進等に関する取組み

土日祝日に一般開放日を設けたり、SNS及びホームページを活用し、施設情報の他にも、主なイベント、空き状況及び一般公開日等を随時掲載したりすることで、多くの市民の方に利用できる機会を提供できている。利用料金の支払いへのキャッシュレス決済の導入により、利便性の向上が図られている。サッカー教室やグラウンドゴルフ大会を開催したり、人気の自主事業を追加開催することで、市民サービスの向上や、地域のスポーツ振興にも供している。

②経費の削減に関する取組

ペーパーレス化及び節電を行い、清掃、グラウンド整備及び簡易修繕を職員で行うことで、経費削減が図れている。

③適正な管理運営の確保に対する取組み

Aグループは、いずれの施設も広い敷地であるにもかかわらず、少数の職員で清掃及び点検を適切に行い、良好な維持管理に努めており、利用者が快適に利用できる施設運営が行われている。

2 総合評価

利用促進に係る新たな取り組みを実施したり、外部委託を減らすことで経費削減を図ったり等しており、市が求める水準を満たしていることから、総合評価をBとした。

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

老朽化の進んでいる施設が多いため、日々の点検を確実に実施し、常に安心して利用できる施設管理を心掛けてもらい、また、引き続き、修繕・改修が必要であると判断された場合は、早急に報告・相談をするよう指導していく。